

授業科目 装具実習 I (体幹装具実習)

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
阿部 薫、笹本 嘉朝、藤枝 温子、前田 雄		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	120
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
			○	◎	
【概要・一般目標：G10】 脊柱疾患・障害に対応した体幹装具を製作・適合できるようになるために、採型・採寸、モデル修正、製作と組立て、および適合と問題解決等の基本技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者との対面場面で義肢装具士として適切な行動をとることができる。 2. 採寸・採型作業を確実にできる。 3. 陽性モデル修正作業を正確に行える。 4. 材料の加工や組立てなど、製作工程において安全かつ効率的に作業できる。 5. チェックアウト・プロトコルに則り、装具の適合状態を確実に判断できる。 6. 適合不良に対し適切に対処できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	腰仙椎装具の採寸・採型			1, 2	
2	腰仙椎装具の陽性モデル修正			3	
3	腰仙椎装具の製作			4	
4	腰仙椎装具の適合チェックアウト			1, 5	
5	胸腰仙椎装具の採寸・採型			1, 2	
6	胸腰仙椎装具の陽性モデル修正			3	
7	胸腰仙椎装具の製作			4	
8	胸腰仙椎装具の適合チェックアウト			1, 5	
9	頸椎装具の適合チェックアウト			1, 5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学 第4版	日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版	2013・6,200円・ISBN：9784263214183
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、レポート、各工程における技術習得レベルを成果物で評価する。			【履修上の留意点】 学生がモデル被験者となる。講義科目とあわせて進めるため、本科目と装具学 I (体幹装具) の相互理解が重要である。		